

第9回

在宅医療インテグレーター養成講座

なぜ「在宅医療インテグレーター」か！

在宅の現場には様々な問題であふれています。必要な医療的サービスやケアを受けながら、患者さんが安心して望む場所で望むように過ごせるにはどうしたらよいのでしょうか。

各専門職は一生懸命関わっているのに、何かうまくいかない・・・

医学知識に疎い福祉職、社会資源や制度に疎い医療職、どちらの視点も必要だが・・・

患者さんの本当の想いはどこにあったのだろうか、あの支援は本当によかったのだろうか・・・

「連携」といいながら、単につなぐだけになっていないか・・・

こんなことを思ったことはありませんか？

各人が少しずつ知識・視野を広げ、協力していけたら、もっといい関わりができるのではないかと、私たちは考え、この講座を企画しました。

と、私たちは考え、この講座を企画しました。

さまざまな課題を抱える複合的な困難事例においては、単に多職種・多事業所を紹介してコーディネート(調整)するだけでは対処できません。医療や制度等を俯瞰する知識をもち、様々な職種や方法をインテグレート(統合)していく役割が必要です。在宅医療インテグレーターはそのような経験とスキルをもつ人材を意味しています。



基礎編 2025年11月2日(日) 10:00～17:30(予定)

2025年11月9日(日) 10:00～17:00(予定)

応用編 2026年2月15日(日) 10:00～17:00(予定)

2026年2月22日(日) 10:00～16:00(予定)

●定員80名(定員になりましたら締め切ります)

●受講料(4日間)学会会員: 25,000円 非会員: 35,000円

●参加資格 以下3つの条件をすべてクリアすることのできる方(応募多数の場合には抽選とさせていただきます。)

- ① 医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師、臨床心理士、介護福祉士、介護支援専門員、相談支援専門員、歯科衛生士等として5年以上の実務経験のある方
- ② 申込後に、在宅等での医療にかかわる経験事例(在宅症例・退院支援・入院支援・連携支援等)を事前課題として提出できる方
- ③ 全課程(オンデマンド教材の事前視聴、グループワークへの積極的参加を含む)への出席ができる方

●受講条件 以下2つの条件をクリアすることのできる方

- ① 安定的な通信環境(光回線推奨)とデバイス等をお持ちの方
 - ・情報処理端末(A)デバイス パソコンを使用 スマートフォンやiPadは不可
 - (B) OS Windows 8.1以降, Mac OS 10以降 (C) ブラウザ Chrome, Safari, Edge等
 - ・カメラ 付属のカメラ、外付けのカメラいずれか(受講中は常時カメラONにてご参加頂きます)・イヤホン
- ② インターネット基本操作ならびに下記の作業ができる方
 - ・ZOOMを使ってオンラインコミュニケーションができる
 - ・YouTubeで動画を視聴することができる
 - ・配信された資料の保存・印刷やWEBアンケートへの回答ができる

申し込み方法と
プログラムは裏面を
ご覧ください

●主催 一般社団法人日本在宅医療連合学会

●共催 公益社団法人日本医療ソーシャルワーカー協会 日本難病医療ネットワーク学会

●後援 一般社団法人全国訪問看護事業協会 公益社団法人日本看護協会 公益財団法人日本訪問看護財団

一般社団法人日本神経学会 公益社団法人日本介護福祉士会 一般社団法人日本介護支援専門員協会

一般社団法人日本神経治療学会 一般社団法人日本ケアマネジメント学会

一般社団法人日本作業療法士協会 一般社団法人日本言語聴覚士協会 公益社団法人日本理学療法士協会

【お問い合わせ先】日本在宅医療連合学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階

TEL&FAX 03-5802-3490 E-Mail: jimukyoku@jahcm.org

●プログラム(仮) (ワーキンググループで開発改良が続いているため変更の可能性があります)

基礎編(仮)

●事前学習(動画視聴)・提出課題
がん、認知症の基礎知識、
社会保障制度総論、意思決定支援 等

●11月2日(日)
在宅医療インテグレーター論
社会保障制度(社会保障論)
ワーク1 認知症
ワーク2 難病

●11月9日(日)
ワーク3 がん
ワークシート の使い方
ワーク4 臓器不全(心不全)

応用編(仮)

●事前学習(動画視聴)・提出課題
臓器不全、小児在宅医療の基礎知識、
訪問看護 等

●2月15日(日)
在宅医療インテグレーター論
(基礎編振り返り)
ワーク5 複合的な症例1
(精神障害+がん)

ワーク6 複合的な症例2
(COPD+認知症)

●2月22日(日)
ワーク7 複合的な症例3
(小児在宅医療の実際)
インテグレーションのプロセス

【修了者の感想】

- 多くの講師の先生方がおられ、とても盛大な会だと思いました。
今後、インテグレートする上で、振り返りながら、その人やその周囲の人々が生活の質が向上出来るように、
精進します。
- とてもいい講座だと思いました。同職種の気づきや視点なども参考にすることができたグループワークは
有意義な時間でした。講座最終のGWでは時間が足りなかったしもっと意見交換したかったなと思いました。
- とても有意義な時間が過ごせました。多職種グループと職種別グループ。両方あることがとても良かったです。
多職種の時には、やはり医師の意見にハッとさせられることがあり 職種別の時には自分の気持ちを分かって
くれる人がいてほっとしたりしてました。

●申し込み手順

- ① 日本在宅医療連合学会のホームページから申し込みをしてください。<https://www.jahcm.org/integrator.html>
- ② 申し込み受付メールに記載された口座に受講料を振り込んでください。
- ③ 事前課題があります。申し込み受付メールで詳細をお伝えいたします。
上記②③の完了を持って受講申し込み受付とします。

※テキストは印刷したものを開講日1週間前までにご登録頂きましたご住所先へお送りします。
その他追加の配布物がありますが、当日配布資料は、Zoom内で共有しますので、各自で保存・印刷して
ご活用くださいますようお願いいたします。

●注意事項

- 修了証は、基礎編・応用編全4日間の出席・事前事後課題の提出及び受講姿勢(グループワーク参加状況等)を
踏まえて該当される方に発行させていただきます。
- 欠席(キャンセル)については、**応用編全日を受講翌年度にのみ**持ち越すことが可能です。
基礎編のみ、応用編1日のみ、あるいは翌々年以降の持ち越しは出来ません。
- 持ち越し受講に伴う費用(テキスト代等)は改めてご負担いただきます。
- 欠席(キャンセル)時期によりテキストの返却をお願いする場合がございます。事務局より適宜ご案内いたします。

申込QRコード

【お問い合わせ先】 日本在宅医療連合学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3-2-7 お茶の水サニービル7階
TEL & FAX 03-5802-3490 E-Mail: jimukyoku@jahcm.org

